

シオマネキ

岡山県：絶滅危惧Ⅰ類

十脚目

Uca arcuata (de Haan)

環境省：絶滅危惧Ⅱ類

スナガニ科

選定理由

生息条件が悪化し、産地・個体数ともに極端な減少傾向にあり、絶滅の危険性が高い。

存続を脅かす要因

河川開発（護岸工事）、用水路改修、川相変化、湿地開発（ヨシ原減少）、海岸開発（護岸工事、干潟減少、干拓、埋立）、水質汚濁、産地局限

分布状況

県内では岡山市、玉野市（未発表）で確認されている。高梁川河口からも記録があるが、信憑性に乏しいと指摘されている。

県外では伊豆半島、紀伊半島、瀬戸内海、四国、九州、沖縄本島から知られている。

生息情報

甲長22mm、甲は長方形で平滑、黒色の網目模様を具える。前側縁は後方へ強く狭まり、眼窩外歯から稜線が後縁まで走る。雄の左右いずれかの鉗脚は巨大化し、橙色で、掌部の外側面に顕著な顆粒を散らして石畳状となる。大鉗の掌部は指部より短い。大規模な内湾奥の良好な状態に保たれた河口部汽水域の軟泥干潟において、ヨシ原内部やその周辺に巣穴を形成して生息する。現存する産地のうち、多産する場所は限られている。岡山県では岡山市で2000年に雄1個体が採集され、玉野市でも近年の産出例があるが、それ以外には確認されていない。

文献番号 136, 138, 159

(福田 宏)



撮影：岡 秀彦



ハクセンシオマネキ

岡山県：準絶滅危惧

十脚目

Uca lactea (de Haan)

環境省：絶滅危惧Ⅱ類

スナガニ科

選定理由

生息条件が悪化し、産地・個体数ともに減少傾向にある。

存続を脅かす要因

河川開発（護岸工事）、用水路改修、川相変化、湿地開発（ヨシ原減少）、海岸開発（護岸工事、干潟減少、干拓、埋立）、水質汚濁、産地局限

分布状況

県内では笠岡市入江、倉敷市、岡山市東区宝伝・犬島・久々井・西大寺川口・乙子、瀬戸内市牛窓町、備前市日生町で確認されている。

県外では伊勢湾以南、九州までと韓国、中国、台湾に分布する。

生息情報

前種シオマネキに似るが小型で甲長11mm、甲の前側縁の後方への狭まりは弱い。大鉗は平滑で顆粒を欠き、表面は白い。内湾の砂泥干潟に巣穴を形成して生息し、産地によっては多数が群生する。シオマネキに比べれば産地・個体数とも多い。

文献番号 117, 136, 160

(福田 宏)

